

会議名	長浜市指定管理者選定委員会第2委員会 (令和5年度第4回会議)
日時	令和5年10月26日 12:58~16:35
審査対象	木之本まちづくりセンター

#### 審査結果概要

- (i) 施設所管課（市民活躍課）からの募集経過説明
- (ii) 申請団体（木之本地区地域づくり協議会）による説明、プレゼンテーション
- (iii) 質疑応答
- (iv) 採点、集計  
1,000点満点中：754点（100点満点中：75.4点）
- (v) 審査  
指定管理者候補として適当と判断する者  
所在地 長浜市木之本町木之本1757-2  
名称 木之本地区地域づくり協議会  
代表者 会長 寺田 年克  
選定にあたっての条件 特になし

#### 質疑応答

- 委員 : 新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、まちづくりセンター利用者が増えて  
いるようだが、指定管理運営上の特色を教えてください。
- 申請者 : まちづくり事業は木之本地域全域を対象に実施している。木之本地区以外の3地  
区の特徴を活かし、例えば地区の歴史をテーマにするなどしている。
- 委員 : 4地区全てから参加されているか。
- 申請者 : その地区にまつわる講座を開催すると、そこからそれなりに参加がある。ただし、  
人口割合が一番高い木之本地区からの参加が多いのは否めない。
- 委員 : 運営にあたって他の3地区との協力関係はあるか。
- 申請者 : 他地区の方が運営に関わることはない。いずれの地区にも活動拠点があり、他か  
ら来てまちづくりセンターを利用するのは利便が悪いため、協力関係はない。
- 委員 : 所長を含めて常勤3名を配置。最低賃金が今年10月から上昇しているが、正規  
職員の給与水準は適切か。
- 申請者 : 飛びぬけて高いことはないが、最低賃金は上回っている。
- 委員 : 時間外勤務等は発生しているか。
- 申請者 : 時間外勤務があった場合は休みで対応しており、時間外手当は発生していない。

委員 : 会員の世代交代が一番の課題と記載されているが、どのように若い世代を巻き込んでいこうと考えているか。

申請者 : 協議会発足時から同じメンバーが運営に関わっている。個人会員と団体会員があるが、いずれも年齢層が高い。第2次計画にも対策を盛り込んでいたが、部会に任せていて十分な効果が得られなかった。第3次計画は事務局主体で若い世代を巻き込んでいく。

委員 : 利用者アンケートについて、毎年度末に1度となっている。できれば施設利用の際に都度意見収集し、施設運営に反映させた方がよいのではないか。

申請者 : アンケートは1月～2月に実施しているが、通常の施設利用の際にも記入用紙を渡しているものの、定期利用者が多いため意見はあまりないが実情。

委員 : インボイスの登録はしたか。

申請者 : 登録した。

委員 : 今後は消費税の支払いが発生するため、しっかりと対応してほしい。

申請者 : 承知した。

委員 : 人材育成にはどう取り組まれているか。

申請者 : 市内のまちづくりセンターが合同で開催する研修会等に積極的に参加している。

委員 : 苦情があった場合はどうか。

申請者 : 内容を十分に聞き、多人数で対応するという点を意識して対応している。

## 審査

委員 : 人材育成が気になっていたが、課題と原因がわかっている、今後の解決策も考えておられたので、しっかりと対応していただきたい。

委員 : 人材育成が急務。木之本には4地区があるので、小さくまとまるのではなく、木之本地域全体での取組みを活性化させてほしい。

委員 : 全体的に堅実、誠実に取り組まれていると感じたが、今後の人材育成、後継者確保が懸念される。問題意識はあるのでよい方向に進めてほしい。また、もう少し前向きに4つの地区が連携した取組みをすすめられるよう期待したい。

委員 : 真面目に取り組まれているのが伝わった。限られた予算の中で、常勤3名の職員を雇用して運営されている点がよいと思った。

委員 : 防火責任者等について、市庁舎との複合施設なので設置は必要ないとされているが、市と協議会は別なので、人材育成と併せて資格取得も進めてほしい。

委員長 : 木之本地区地域づくり協議会を木之本まちづくりセンターの指定管理者候補としてよろしいか。

全員 : 異議なし。